

平成21年度 情報化施工の普及に向けた試験施工の実施について(案)

施工化施工普及のため施工効率や、施工品質の検証などを目的とした試験施工及びアンケート調査を直轄工事にて実施する。

1. 試験施工を実施する工事(工種)と情報化施工技術

表1①～⑦の技術の作業のウエイトが高い工種である「道路土工」、「河川土工」および「舗装工」を含む工事を試験施工の対象とした。

表1 平成21年度に試験施工を実施する工事(工種)と技術内容

技 術 名	要領 (案)	作業内容	使用する 建設機械	河川土工 (築堤・ 掘削工)	道路土工 (路体・路 床・掘削 工)	路盤工	アスファルト舗 装	監督検査 方法
① マシンコントロール/ マシンガイダンス技術	—	巻き出し 敷き均し	ブルドーザ グレーダ	○	○	○	—	対象外
② TS・GPSによる 締固め管理技術	※1	締固め	ローラ	○	○	—	—	施工管理 要領(案) に基づき 実施
③ TSによる出来形管理 技術	※2	出来形計測	(TS)	○	○	—	—	
④ マシンガイダンス技術 ※3	※2	掘削・成形 出来形計測	バックホウ (TS)	○	○	—	—	
⑤ 加速度応答による締め 固め管理技術※4	未	締固め	ローラ	○	○	○	○	(比較検証を実施) 従来の方法による
⑥ 盛土の巻き出し厚さ管 理技術	未	出来形計測	ブルドーザ	○	○	—	—	
⑦ TSによる舗装工の出 来形管理技術	未	出来形計測	(TS)	—	—	○	○	

※1：TS・GPSを用いた盛土の締固め情報化施工管理要領(案)

※2：施工データを搭載したTSによる出来形管理要領(案)

※3：バックホウ掘削工における情報化施工要領(試行案)に基づき実施する。

※4：路盤工、舗装工については、②の技術の適用性も検証する。

2. 調査内容

(1) アンケート調査【請負業者及び監督検査職員】

- ・ 情報化施工を導入した場合の課題及びメリットの調査
- ・ 情報化施工管理要領（案）を用いて監督・検査を実施した場合の課題抽出
- ・ 情報化施工技術導入による監督検査業務の改善点を調査

(2) 詳細調査【請負業者】

- ・ 工事規模、使用機器、準備時間、作業時間などの実態調査
- ・ 情報化施工で使用した設計データ、施工管理データ等の収集
- ・ マシンコントロール技術で施工した路盤完成後の仕上がり高さ調査
- ・ 新たな施工管理手法（管理要領、監督検査）の作成、確立に向けたデータ収集

3. 試験施工を通じた情報発信

情報化施工に対する理解の促進を図るため、発注者・施工者を対象とした見学会を現場状況に応じて開催し、情報発信を行う。